

第69回（令和4年度）

彦根市美術展覧会

市展目録

会期 9月11日(日)～9月18日(日)

※9月12日(月)は休館日

時間 9時30分～17時00分

※9月18日(日)は15時00分まで

入場無料

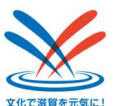
会場  ひこね市文化プラザ (彦根市野瀬町187-4)

日本画	第1・2研修室（メッセホール棟 2階）
洋画	第1・2リハーサル室（グランドホール棟 2階）
彫刻	メッセホール（メッセホール棟 3階）
工芸	第3研修室（メッセホール棟 2階）
書	メッセホール（メッセホール棟 3階）
写真	展示ロビー・視聴覚室（メッセホール棟 1階）



マークがある作品の写真撮影はご遠慮ください

「第72回彦根市秋の文化祭」主催事業／「第52回滋賀県芸術文化祭」参加事業

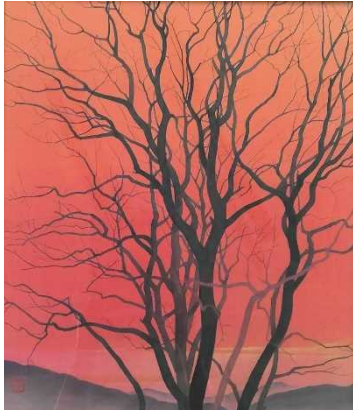


文化で滋賀を元気に！

日本画部門

審査員：箱崎 睦昌 先生

大分県出身 京都府宇治市在住



「夕映」

1972年 京都市立芸術大学
日本画専攻科 修了
1989年 京都市芸術新人賞 受賞
1995年 タカシマヤ文化基金
新鋭作家奨励賞 受賞
1998年 「NEXT」の結成に参加
2003年 京都迎賓館会議室壁画
原画制作
京都府文化功労章 受賞

現在 嵯峨美術大学名誉教授・評議員
京都国立近代美術館評議員

<総評>

コロナ禍で3年ぶりの開催となったが、出品数が前回に比べ2割減と少なくなったのは残念である。また受賞作品が植物をモチーフにした華ばかりとなり変化に乏しい事も少し気になった。

■ 市展賞 ■



「猛暑の中でも」

早崎 清美

蝶の表現など破の多い作品だが、ヒマワリの表現に力強さと、面白さを感じる。



■ 特選 ■

<彦根商工会議所会頭賞>

「角館の桜」

長崎 典子

絵ハガキの様に普通になりやすい角館の武家屋敷の桜を華やかに、丁寧に描いている。



■ 特選 ■

<毎日新聞社賞>

「沙羅の木」

滝沢 千代子

写生を基に、夏椿を素直に描いた作品で、画面全体を黄緑にまとめた好感の持てる作品である。



■ 特選 ■

<彦根観光協会会長賞>

「夏の日のフォーカス」

志摩 まゆみ

点描技法で光を白に置き換え、全体をまとめているが、動きの無い構図には問題が残る。

日本画部門

展示場所 : 第1・2研修室 (メッセホール棟 2階)

賞	題 名	氏 名	備 考
市 展 賞	猛暑の中でも	早崎 清美	
特 選	角館の桜	長崎 典子	彦根商工会議所会頭賞
特 選	沙羅の木	滝沢 千代子	毎 日 新 聞 社 賞
特 選	夏の日フォーカス	志摩 まゆみ	彦根観光協会会長賞
佳 作	秋桜	長谷川 祐子	
佳 作	秋の調べ	牧野 昌代	
入 選	海の香	北村 妙子	
入 選	も・の・が・た・り	伊藤 恵朗	
入 選	晩秋の霞沢岳	山岡 勝	
入 選	ゆず	成内 節子	
入 選	芙蓉	杉本 恵美子	
入 選	二月の雪	小泉 英子	
入 選	残り花	竹内 歌子	
入 選	霊木	竹田 建行	
入 選	はす	馬場 初代	
入 選	何思う、愛らしい。	北村 幸子	
入 選	鬼神	小澤 弘	
	刻(鳥居本郵便局裏にて)	立江 恵美	無 鑑 査
	ガーデンの小道	松居 直子	無 鑑 査
	時代を見つめた古梅	谷村 純子	無 鑑 査
	水仙	曾我 光博	無 鑑 査
	夕映	箱崎 睦昌	審 査 員
	赤いタンズ	眞野 康光	委 員
	駅	本田 充	委 員

洋画部門

審査員：天野 富美男 先生

兵庫県出身 兵庫県高砂市在住



「青年」

1975年	第61回光風会展奨励賞 受賞
1976年	第62回光風会展光風賞 受賞
1977年	第1回日洋展三越奨励賞 受賞
1986年	第10回日洋展記念大賞 受賞
1993年	第3回兵庫県新進芸術家奨励賞 受賞
1993年	第8回日洋展井手宣通記念賞 受賞
1993年	第25回日展特選 受賞
1994年	高砂市文化奨励賞 受賞
2000年	第32回日展特選 受賞
2004年	第36回日展審査員
2008年	兵庫県文化賞 受賞
2008年	第40回日展審査員
2013年	第45回日展審査員

現 在 日展特別会員、日洋展理事・事務局長
ラ・イン会代表、高砂市美術協会会長
神戸芸術文化会議美術部門運営委員
兵庫県洋画団体協議会事務局長

<総 評>

コロナ禍の為、3年間展覧会の開催が待たれた分、じっくりと対象と向かい合う時間を持つことができたと感じられる作品が多く見られました。絵は言葉と同じです。

思いや感動が伝わってくる作品を期待します。

■ 市展賞 ■



「輝く朝」

林 章江

朝の光の中でとけはじめたつらの透明感とそこに写りこんだ景色に春を待つ想いが感じられました。

■ 特選 ■



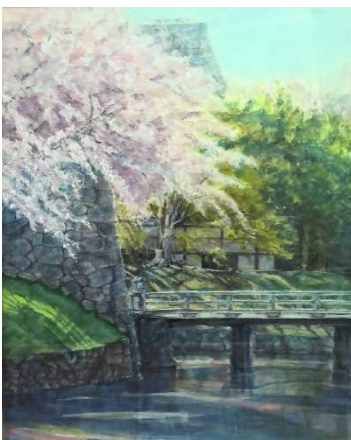
<滋賀彦根新聞社賞>

「静かな光」

加藤 みどり

逆光の中の人物を確かな描写力で表現しています。

■ 特選 ■



<彦根金亀ライオンズクラブ会長賞>

「春うららかに」

兒玉 照子

桜満開の春の一日。光と影が創り出す静かでゆったりとして情影を透明感のある色彩で表現しています。



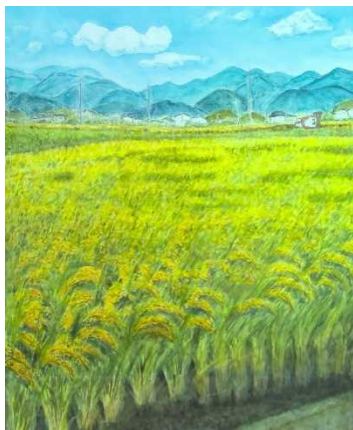
■ 特選 ■

<彦根青年会議所理事長賞>

「紫幹翠葉伊吹」

村中 弘治

大地を圧するような伊吹山の迫力と山麓に点在する民家。作者の伊吹山への畏敬の念が感じられます。



■ 特選 ■

<彦根南ロータリークラブ会長賞>

「稲『おーい雲よ』」

杉野 澄子

黄金色に実った稲田。収穫の喜びが伝わってきます。



■ 特選 ■

<公益財団法人平和堂財団賞>

「刻」

塩谷 雅子

何気ない日常の風景をすみずみまで神経の行きとどいたタッチで表現しています。



■ 特選 ■

<彦根文化新聞社賞>

「旧足軽屋敷の店先」

松林 憲一

年代をへて建つ屋敷の重厚さがよく表現されています。屋根瓦の表現にもう一工夫されるといいですね。



■ 無鑑査奨励賞 ■

「雨後」

久川 邦代

雨が上がり、残された水たまりに写った青空と建物の屋根。雨あがりの情景がよく表現されています。

洋画部門

展示場所 : 第1・2リハーサル室 (グランドホール棟 2階)

賞	題名	氏名	備考
市展賞	輝く朝	林 章江	
特選	静かな光	加藤 みどり	滋賀彦根新聞社賞
特選	春うららかに	兒玉 照子	彦根金亀ライオンズクラブ会長賞
特選	紫幹翠葉伊吹	村中 弘治	彦根青年会議所理事長賞
特選	稲「おーい雲よ」	杉野 澄子	彦根南ロータリークラブ会長賞
特選	刻	塩谷 雅子	公益財団法人平和堂財団賞
特選	旧足軽屋敷の店先	松林 憲一	彦根文化新聞社賞
佳作	穏やかな曽根沼	廣瀬 巖	
佳作	晩夏港	中島 伸明	
佳作	卒業後の	田中 風羽	次世代芸術奨励賞
佳作	三島池	古川 文雄	
入選	伊吹山雪景色	喜多 善一郎	
入選	こわされていく家	川口 昭次郎	
入選	メテオラーI	木下 二二男	
入選	音	森口 政博	
入選	片隅を照らす	田島 久子	
入選	自然に立ち向かう	脇坂 政子	
入選	散紅葉	高田 徳一	
入選	芹川櫂の精霊	藤本 修	
入選	キャンバスはwindow	瀬戸口 園子	
入選	サンセットオン琵琶	若林 一男	
入選	窓を開けて	中野 正雄	
入選	時は過ぎ行く	岡嶋 康子	
入選	白蓮	松野 幸恵	
入選	花の舞い	川本 京子	
入選	日々	川瀬 加代子	
入選	青樹	小林 知恵子	
入選	熊川宿に於て	小林 淑	
入選	1本の赤いバラ	執行 明美	
入選	光刻	山田 博子	

賞	題名	氏名	備考
入選	新緑の頃	田中 明夫	
入選	心弾む時に	長崎 典子	
入選	あれから40年	八木 清子	
入選	修理工房	鈴木 真知子	
入選	如意輪観音菩薩坐像	中島 郁代	
入選	道	夏川 郁子	
入選	清流	清水 悦子	
入選	畝るMUSHIYAMA	宮田 治男	
入選	今なお現役	西村 通子	
入選	深雪	堀畑 末一	
入選	蕭然	田村 欣実	
入選	夏の庭花	関 壽賀子	
入選	裏木戸	馬淵 万智子	
入選	道化師	荻田 明美	
入選	湖北	上田 和光	
入選	西の湖の風	小松原 正二	
入選	早春の湖畔	伊藤 寿美江	
入選	伊吹山	小野 淳	
入選	棕櫚と物置と	小泉 英子	
入選	午後の戯れ (高島市 メタセコイア並木 より)	宮地 正子	
入選	朝焼け	伊吹 和子	
入選	春爛漫	中田 加代子	
入選	memories	今村 栄子	
入選	ビニール傘	小林 淳二	
入選	三島池	古野 信雄	
入選	酒蔵歩き	服部 和夫	
入選	秋の山路	北川 彰	
入選	咲きほこる	小山 信子	
入選	微かな記憶	長 豊子	
入選	秋桜土手に咲く	目戸 てるよ	
入選	満月	太田 靖之	

賞	題名	氏名	備考
無鑑査奨励賞	雨後	久川 邦代	無鑑査
	刻	福原 善行	無鑑査
	櫛からのメッセージ-2022-	門野 三喜重	無鑑査
	長命寺三重の塔	今井 博子	無鑑査
	復活の刻	北川 八恵子	無鑑査
	紅葉の永源寺	百々 修子	無鑑査
	日々是好日	久田 知恵子	無鑑査
	葡萄畑の冬	江竜 美子	無鑑査
	アリウムギガンチウムの咲く庭	押谷 たか子	無鑑査
	晩秋の参道	比喜多 利彌	無鑑査
	季節・過ぎて	北川 晴子	無鑑査
	早春伊吹	小田柿 寿郎	無鑑査
	キッチン	小田柿 弘子	無鑑査
	卓上の静物	戸田 雅子	無鑑査
	枝垂れ桜	西脇 操	無鑑査
	慈愛	菅森 菜穂子	無鑑査
	五月川	中野 裕子	無鑑査
	青年	天野 富美男	審査員
	白樺湖眺望（車山高原）	嶋貴 佑一	委員
	聴	佐渡 一清	委員
	家を去る前に	土屋 幸	委員

※入賞順および受付番号順に掲載しています。

※題名・氏名の旧字体等は置き換えて記載しています。

彫刻部門

審査員：竹谷 邦夫 先生

京都府出身 京都市在住



「夢心地」

1980年 第34回滋賀県展 文部大臣奨励賞受賞
1987年 第39回京展 京展賞受賞
1991年 第21回日本彫刻会展 日彫賞受賞
1994年 第26回日展 特選受賞
1997年 第29回日展 特選受賞
2006年 第16回秀明文化賞 受賞

現在 日展特別会員、日本彫刻会運営委員
日本美術家連盟会員、京都精華大学講師

<総評>

作品の大小に関わらず、時間をかけて作り上げた作品に魅力を感じました。過去の好きな作品を手本にして作ることは自分自身の技術を高めるために大切なことです。今後は更に自らが考えた形で、独創性を大切にしてください。

■ 市展賞 ■

<滋賀県芸術文化祭奨励賞>



「恐竜ディメトロドン」

三浦 正夫

量感豊かで迫力を感じます。背びれの形も作品の魅力を高めています。また、素材を活かした色合いが見事です。



■ 特選 ■

〈彦根市教育委員会教育長賞〉

「阿修羅」

清水 弘司

シンメトリー（左右対称）でバランスよく構成し、本体を取り巻く空間の豊かさが感じられます。



■ 無鑑査奨励賞 ■

「トーテム」

一円 敏彦

見る人にいろんなイメージを連想させる力作です。また、形を活かした色のグラデーションが美しいです。

彫刻部門

展示場所 : メッセホール (メッセホール棟 3階)

賞	題名	氏名	備考
市展賞	恐竜ディメトロドン	三浦 正夫	滋賀県芸術文化祭奨励賞
特選	阿修羅	清水 弘司	彦根市教育委員会教育長賞
佳作	大日如来坐像	竹内 嘉明	
入選	出演の朝	藤本 喜一郎	
入選	鯉と紅葉	谷口 齊	
入選	阿弥陀如来坐像	疋田 勝司	
入選	小仏阿弥陀	桂田 滋康	
無鑑査奨励賞	トーテム	一円 敏彦	無 鑑 査
	夢心地	竹谷 邦夫	審 査 員
	東雲の湖	志萱 州朗	委 員
	収束を願う	小谷 政雄	委 員

※入賞順および受付番号順に掲載しています。

※題名・氏名の旧字体等は置き換えて記載しています。

工芸部門

審査員：森野 彰人 先生

京都府出身 京都市在住



「碧雲罍『竹』」

1969年	京都に生まれる
1993年	大阪芸術大学芸術学部陶芸コース 卒業
1995年	京都市立芸術大学大学院美術研究科 修了
1998年	第5回国際陶磁器展 美濃'98（多治見） 銀賞受賞
2007年	京都市芸術新人賞 受賞
2009年	現代工芸への市展 -装飾の力- （東京国立近代美術館／東京）
2012年	タカシマヤ美術大賞 受賞
2020年	京都の陶芸展 -5家17人の挑戦-
現 在	京都市立芸術大学 美術学部教授 芸術資源研究センター所長 IAC（国際陶芸アカデミー）会員 清水焼団地協同組合 副理事長 京都陶器協会 理事

<総 評>

様々な素材を用いた作品が並び、出品者の創意工夫が見られました。工芸は人間が身近な素材を用いた「もの造り」に始まります。従来 of 工芸作品に縛られることなく「もの造り」を楽しむ延長で出品数が増えればと思います。

■ 市展賞 ■



「彦根屏風 双六を囲む遊客」
國門 登美恵

布使い、屏風、駒、細部まで気を抜かず作られた完成度の高い作品に仕上がっています。

■ 特選 ■

<産経新聞社賞>



「あうんの像」

北川 清達

独自の繊細な線を巧みに用いることにより、切り絵の特性を生かした見事な表現になっています。

■ 特選 ■

<彦根市議会議長賞>



「段付烏帽子形兜」

山口 四郎

一般的に扱い難い鉄を見事に加工し烏帽子兜を作り上げられた技術力の高さが見事です。

■ 無鑑査奨励賞 ■



「こぼれ陽」

谷本 佳代子

緑葉を湛える樹木と、木洩れ陽を刺繍技法の特性を活かし見事に表現されています。

工芸部門

展示場所 : 第3研修室 (メッセホール棟 2階)

賞	題名	氏名	備考
市展賞	彦根屏風 双六を囲む遊客	國門 登美恵	
特選	あうんの像	北川 清達	産経新聞社賞
特選	段付烏帽子形兜	山口 四郎	彦根市議会議長賞
佳作	ハーレーダビッドソン	目戸 律夫	
佳作	幸運 (末広がり)	岩泉 三朗	
入選	木の実たちの夢の世界	本田 義則	
入選	深山	曾我 伸子	
入選	ま〜だ まだ…	吉田 佐代子	
入選	日本現存天守12城	長崎 春樹	
入選	もりの朝	田井中 新次	
入選	山家	松宮 臣道	
入選	豊作を祝う秋桜	古川 勇	
入選	メタセコイア並木	古野 信子	
入選	ヒロインかぼちゃのあかり	平田 昭	
入選	着物	山川 美江	
入選	芙蓉木の葉皿セット	川添 大介	
無鑑査奨励賞	こぼれ陽	谷本 佳代子	無 鑑 査
	切り絵 和	山本 勝彦	無 鑑 査
	水面	伊藤 恵朗	無 鑑 査
	本願寺讃歌 “恩徳讃”	舟越 弘子	無 鑑 査
	想う	川端 澄代	無 鑑 査
	碧雲蓉「竹」	森野 彰人	審 査 員
	鉄釉掛花器	佐々 哲三郎	委 員
	早春	河嶋 維久子	委 員

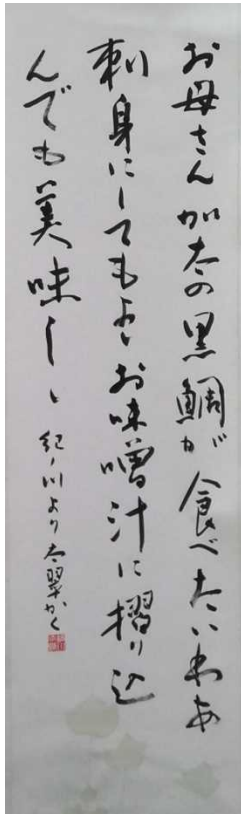
※入賞順および受付番号順に掲載しています。

※題名・氏名の旧字体等は置き換えて記載しています。

書部門

審査員： 細川 太翠 先生

兵庫県出身 兵庫県豊岡市在住



「有吉佐和子『紀ノ川』」

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 2010年 | 第28回読売書法展 読売新聞社賞 受賞
第43回日展 入選 |
| 2012年 | 第45回日展 入選 |
| 2017年 | 第71回日本書芸院展 史邑賞 受賞 |
| 2018年 | 第53回兵庫県書道展 委員大賞 受賞 |
| 2019年 | 第73回日本書芸院展 史邑賞 受賞 |

- | | |
|-----|-----------------|
| 現 在 | 読売書法会 理事 |
| | 日本書芸院 評議員 |
| | 兵庫県書道展 委員・審査員 |
| | 青潮書道会 総務理事・審査会員 |
| | 風信書道会 副会長 |

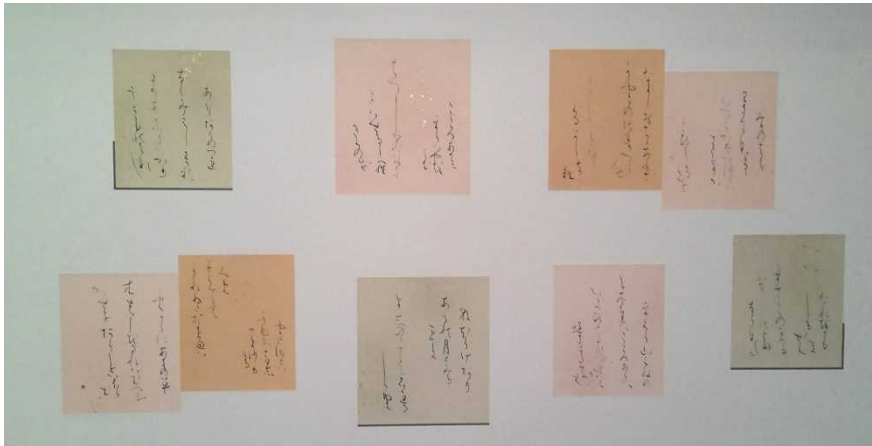
<総 評>

漢字、かな、漢字かな交じり等、それぞれ着実な制作過程が窺われレベルの高さを感じます。作品数が今回は減少しましたが、次回は70回の記念展だと思います。多くのご出品で70回展が隆盛を誇ることを楽しみに期待したいと思います。

■ 市展賞 ■

「百人一首」 武田 仁美

鋭い線でリズムよく書かれています。各葉の構成や配置も美しく、全体のムードも華やかで、格調高い作品です。



■ 特選 ■

<KBS 京都賞>

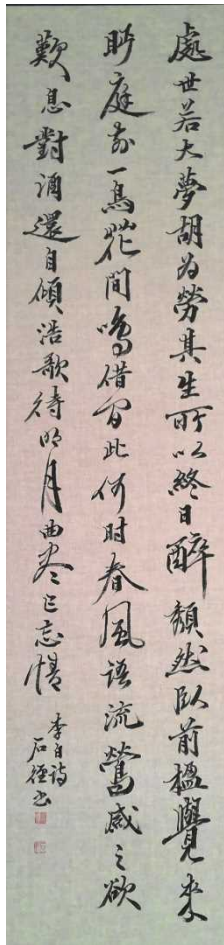
次世代芸術奨励賞

「侯泓詩」

徳山 清奈

呉昌碩の書風を自分のものとし、作品に生かしています。墨もよく入り、力強い作品となりました。





■ 特選 ■

<彦根ロータリークラブ会長賞>

「李白詩」

小林 由喜枝

紙本でなく麻に書かれたであろう作品です。墨色も独特で美しく、文字も明るくまとめ、全体に清涼感ある作品となりました。

■ 特選 ■

<エフエムひこね賞>

「近江の小倉百人一首」

前川 房子

軽快な筆運びと、ゆったりとした構成で、大らかで和やかなムードが漂う品格の高い作品です。



■ 特選 ■

<彦根ライオンズクラブ会長賞>

「李白詩」

川崎 保博

作品のポイントとなる文字を効果的に配置できています。三行をしっかりと書き上げ、安定感のある作品です。

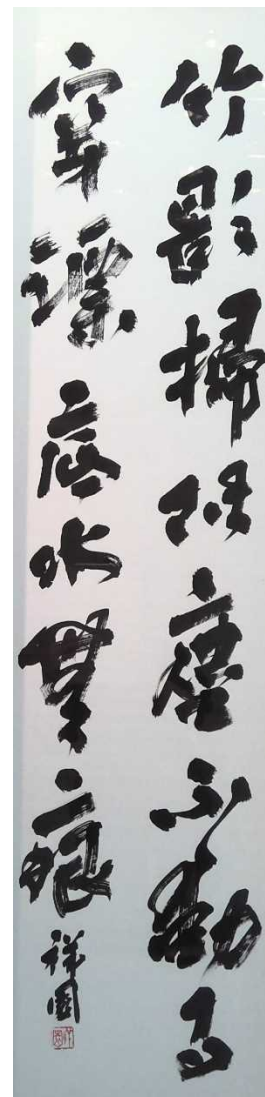


■ 無鑑査奨励賞 ■

「禅語」

安田 祥代

強靱な線で、小気味よいリズムで文字をまとめられています。行の噛み合わせも良く、堂々とした作品です。



書部門

展示場所 : メッセホール (メッセホール棟 3階)

賞	題 名	氏 名	備 考
市 展 賞	百人一首	武田 仁美	
特 選	侯泓詩	徳山 清奈	K B S 京 都 賞 次 世 代 芸 術 奨 励 賞
特 選	李白詩	小林 由喜枝	彦根ロータリークラブ会長賞
特 選	近江の小倉百人一首	前川 房子	エフエムひこね賞
特 選	李白詩	川崎 保博	彦根ライオンズクラブ会長賞
佳 作	日下部鳴鶴楷書千字文全臨	田口 実	
佳 作	王績詩	疋田 礼子	
佳 作	妙楽寺	福井 佳城	
佳 作	臨傳山	古川 華	次 世 代 芸 術 奨 励 賞
入 選	千字文	喜久川 喜美代	
入 選	「伝法偈」達磨大師	川村 圭子	
入 選	風	大野 義孝	
入 選	手書文字	田中 八重子	
入 選	四季	橋本 洋子	
入 選	富士山	若松 淡雪	
入 選	蘭亭序	望月 由美	
入 選	湖の舟	田中 利佳	
入 選	李白の詩	上條 翠波	
入 選	源氏文字鎖	高井 泰子	
入 選	四言句	小森 寿美江	
入 選	千字文	橋本 勝子	
入 選	千字文	佐藤 和子	
入 選	千字文	外村 房子	
入 選	柳	平居 圭子	
入 選	明詩五首	佐野 美千子	
入 選	萬壽祺詩	江竜 美子	
入 選	文徵明詩	近藤 暁彦	
入 選	常建詩	筒井 和彦	
入 選	北原白秋の詩	柴田 翠湖	
入 選	臨何紹基	田中 もも	

賞	題 名	氏 名	備 考
入 選	「松頂片雲落・・・」 (日下部鳴鶴先生の書から)	多田 翠功	
入 選	臨・李嶠詩	平塚 王結	
入 選	臨・王鐸	平井 優紀	
入 選	呉蘭雪詩	細溝 恵	
入 選	蘭亭叙	久保田 謙治	
無鑑査奨励賞	禅語	安田 祥代	無 鑑 査
	島木赤彦の歌	森野 椿草	無 鑑 査
	山色空濛雨亦奇	松田 芳雨	無 鑑 査
	更級日記より	後藤 有啓	無 鑑 査
	月	岡野 有泉	無 鑑 査
	一葉の秋	堤 笑子	無 鑑 査
	梧竹堂書話の一節	高萩 有子	無 鑑 査
	非常の時	押谷 呉壁	無 鑑 査
	古今和歌集・秋	川村 啓子	無 鑑 査
	「ふたり」(折原みと)	堤 豊宏	無 鑑 査
	和歌五首	北川 依子	無 鑑 査
	山頭火の語	西脇 大雄	無 鑑 査
	有吉佐和子『紀ノ川』より	細川 太翠	審 査 員
	高青邱詩	中村 哲	委 員
	三体詩より	安居 孝昌	委 員

※入賞順および受付番号順に掲載しています。

※題名・氏名の旧字体等は置き換えて記載しています。

写真部門

審査員：山本学先生

兵庫県出身 兵庫県宝塚市在住



「Breathing」

個展

2008年 「木」～それぞれの居場所～
富士フィルムフォトサロン
東京・大阪・福岡・名古屋

2017年 「Japanesque」
キャノンギャラリー
銀座・大阪・福岡

写真集

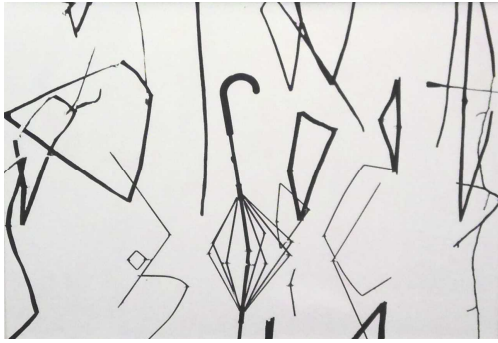
2017年 「Japanesque」 風景写真出版
刊行

現在

日本写真家協会会員（JPS）
日本旅行写真家協会正会員
日本風景写真家協会会員
キャノン EOS 学園など多くの写真教室
やクラブでの指導
市展や観光コンテストでの審査員を歴任

<総評>

色々なジャンルの作品がそろい審査する私達の目を楽しませてもらいました。今やスマホを含めると国民の一人一人がいつでも撮影出来るチャンスがある。その瞬間を活かされた作品群であった。ただタイトルにもう一捻り欲しいです。

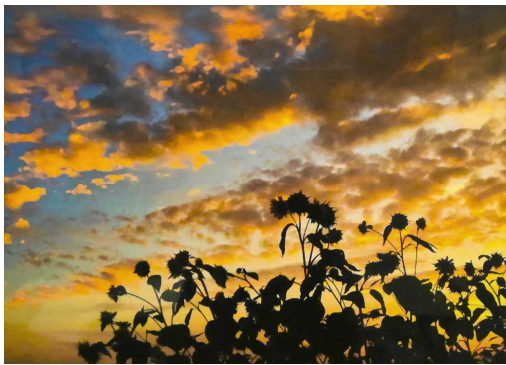


■ 市展賞 ■

「融和」

近野 光生

何だか引き込まれ見入る作品。一般の方が見向きもしない枯蓮をあたかもデザイン性を感じるモノがあった。



■ 特選 ■

<中日新聞社賞>

「夏の夕暮れ」

三竿 恵理子

見事な小焼けにシルエット状のヒマワリがマッチングし、余韻の残る的確な露出でした。



■ 特選 ■

<稲枝商工会会長賞>

「まつりの合間」

青木 宏樹

大人は何をしているんだろうと子供達の視線が何とも言えなくて良い。傘で隠れ興味津々が伝わって来ますね。



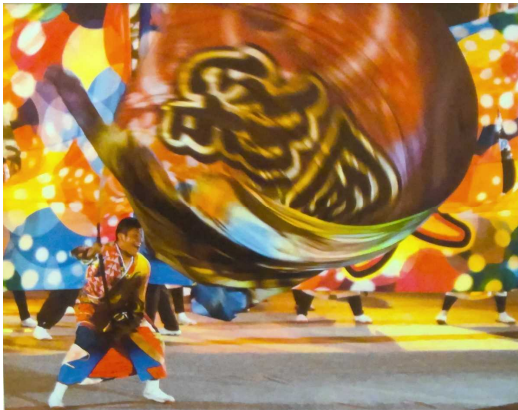
■ 特選 ■

<朝日新聞社賞>

「残照」

高村 利和

人は隙間から見える情景を見入ってしまう。木々の合間からの夕照は明日への希望を持てる。



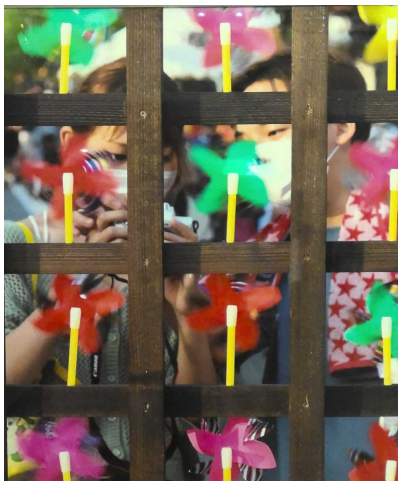
■ 特選 ■

<BBC びわ湖放送賞>

「気合」

強力 美津雄

力強く振り回す団旗を表現する為にスローシャッターでの撮影は見る方に熱気が伝わって来る。



■ 特選 ■

<京都新聞賞>

「ゆかたまつり(B)」

脇阪 義孝

風車の動きを活し、木枠の向こう側に二人はデジカメで撮った画面に夢中。どの様な写真が撮れたか気になりますね。



■ 特選 ■

<NHK 大津放送局長賞>

「夜のゲレンデ」

高田 徳一

地球温暖化のあるのでしょうか？今や人工降雪機が不可欠。人々の楽しむ裏にはこのような情景が広がっているとは脱帽です。



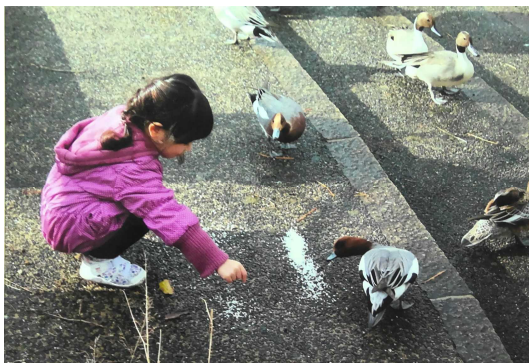
■ 特選 ■

<彦根タイムス社賞>

「春を待つ」

山口 銀治

長い冬が終わろうとしているのが湖面の周囲から感じとれる。画面の真ん中に雪解けの形が印象的。



■ 特選 ■

<読売新聞社賞>

「愛コンタクト」

田島 龍幸

全体に点在する鳥の中に、女の子と一羽の仕草がかわいらしいシャッターチャンスを得ましたね。



■ 無鑑査奨励賞 ■

「帰り道」

大前 岳雄

どこか懐かしさを感じる作品。鯉のぼりを見ると風が吹き、臨場感があります。構図も安定している。

写真部門

展示場所 : 展示ロビー・視聴覚室 (メッセホール棟 1階)

賞	題名	氏名	備考
市展賞	融和	近野 光生	
特選	夏の夕暮れ	三竿 恵理子	中日新聞社賞
特選	まつりの合間	青木 宏樹	稲枝商工会会長賞
特選	残照	高村 利和	朝日新聞社賞
特選	気合	強力 美津雄	BBCびわ湖放送賞
特選	ゆかたまつり (B)	脇阪 義孝	京都新聞賞
特選	夜のグレンデ	高田 徳一	NHK大津放送局長賞
特選	春を待つ	山口 銀治	彦根タイムス社賞
特選	愛コンタクト	田島 龍幸	読売新聞社賞
佳作	春を招く音色	辰巳 敬造	
佳作	湖上の舞	門野 久昭	
佳作	クズノハノレン	杉谷 真人	
入選	五月の雨	下島 耕治	
入選	花しょうぶ	沢田 初枝	
入選	夕景	三橋 武男	
入選	春の終り	河崎 彰	
入選	賑わい	井上 金三	
入選	一羽ぼっち	伊吹 章	
入選	藪の中密やかに	了戒 裕視	
入選	溪谷のゆりかご	本田 義則	
入選	祈願	平田 芳美	
入選	頭上の驚異	砂崎 進	
入選	親子連れ	吉原 正興	
入選	ステーション	菅野 哲郎	
入選	影	小財 郁男	
入選	集中	鈴木 栄子	
入選	冬の造形	高橋 勲	
入選	静寂	小林 正治	
入選	森閑の美	藤居 治行	
入選	降臨	武田 繁康	

賞	題	名	氏名	備考
入選	新緑の湖		大島 喜八郎	
入選	華の宴		北川 孝	
入選	煙ぶる花郷		若松 庄三	
入選	見つけた		北村 圭子	
入選	さざなみの詩		川村 啓子	
入選	春の喜び		加納 久男	
入選	晩秋		白井 逸人	
入選	水面のカンバス		白井 展枝	
入選	ハートフルな日		川幡 千英子	
入選	晩秋		清水 博	
入選	手筒がハネたら		渡辺 克実	
入選	造形美		近野 恭美	
入選	雨に輝く遊歩道		石井 勝男	
入選	残雪に咲く		青山 敬子	
入選	思いのまま		田中 勇	
入選	春を待つ		保永 重治	
入選	祝い舟		宮西 新市	
入選	琥珀色の並木		村田 朝男	
入選	冬の使者		岸辺 剛	
入選	春の散歩道		西村 和子	
入選	Sさんの想い		中川 良次	
入選	朝のグラデーション		西村 鉄夫	
入選	ついて、おいで。		中村 薫	
入選	朝霧舞う立ち枯れの神秘		山本 清	
入選	共演		小林 伊三夫	
入選	静寂		居原田 順治	
入選	爛漫		山添 嘉次	
入選	ダム湖の朝		巖津 貴志	
入選	未知との出会い		中川 明子	
入選	水面に映るカキツバタ		上田 弘行	
入選	火翔		林 久雄	
入選	雨に臆病		大橋 眞紀	

賞	題名	氏名	備考
入選	梅雨の晴間	夏川 宗一	
入選	初夏（なんじゃもんじゃ）	二階堂 登美子	
入選	2025年への夢	瀧波 博之	
入選	厳寒の晴れ間	北川 良治	
無鑑査奨励賞	帰り道	大前 岳雄	無 鑑 査
	静寂	三島 康嗣	無 鑑 査
	にらめっこ	若林 武司	無 鑑 査
	桜 輝く	北川 剛	無 鑑 査
	尾瀬の木道	北村 勝	無 鑑 査
	これが私のソファー	小椋 俊道	無 鑑 査
	魔鳥の水浴び	越智 重春	無 鑑 査
	旅の思い出	佐竹 鉄次郎	無 鑑 査
	余命の憩	鈴木 秀人	無 鑑 査
	離陸の瞬間	池田 誠	無 鑑 査
	そっと妻の手	塩谷 勉	無 鑑 査
	オーロラ海の綿帽子	相田 行雄	無 鑑 査
	Breathing	山本 学	審 査 員
	全員集合	山口 善一	委 員
	五穀豊穰祭	石丸 孝	委 員

※入賞順および受付番号順に掲載しています。

※題名・氏名の旧字体等は置き換えて記載しています。

<出品数>

(点)

	一 般	無 鑑 査	審 査 員 等	計
日 本 画	17	4	3	24
洋 画	62	17	4	83
彫 刻	7	1	3	11
工 芸	16	5	3	24
書	35	12	3	50
写 真	96	12	3	111
計	233	51	19	303

*「無鑑査」…過去に市展賞または特選を3年連続受賞、もしくは通算で5回受賞された方です。無鑑査の方の出品作品は、審査員の審査を受けることなく展示されます。

<入賞および入選数>

(点)

	市展賞	特 選	佳 作	入 選	無鑑査 奨励賞	計
日 本 画	1	3	2	11	0	17
洋 画	1	6	4	50	1	62
彫 刻	1	1	1	4	1	8
工 芸	1	2	2	11	1	17
書	1	4	4	26	1	36
写 真	1	8	3	54	1	67
計	6	24	16	156	5	207

*「無鑑査奨励賞」…無鑑査作品の中で最も優秀な作品に贈られる賞です。

<審査員および委員>

(敬称略・順不同)

	審 査 員	委 員
日 本 画	箱崎 睦昌	眞野 康洸 本田 充
洋 画	天野 富美男	佐渡 一清 土屋 幸
彫 刻	竹谷 邦夫	志萱 州朗 小谷 政雄
工 芸	森野 彰人	佐々 哲三郎 河嶋 維久子
書	細川 太翠	安居 孝昌 中村 哲
写 真	山本 学	山口 善一 石丸 孝

第69回(令和4年度)彦根市美術展覧会

芸術の秋！彦根市美術展覧会では3年ぶりに彦根市および近隣市町の皆さんから作品を公募し、審査を経た力作を多数展示しています。

芸術の秋にふさわしい、美術作品をぜひお楽しみください。

展覧会

会期
会場

9月11日(日)～9月18日(日) ※9月12日(月)は休館日

9:30～17:00 ※9月18日(日)は15:00まで

 ひこね市文化プラザ (彦根市野瀬町187-4)

入場
無料

部門

日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真

表彰式

9月18日(日)

【時間】13時00分～【会場】ひこね市文化プラザ エコーホール

表彰式では、市展賞、特選に入賞された皆様を表彰します。【市展賞、特選】


作品鑑賞会

9月18日(日)

【時間】14時00分～【会場】各部門展示会場

表彰式終了後、各展示会場にて入賞作品の作品鑑賞会を行います。

主催：彦根市、彦根市教育委員会

後援：彦根市議会、彦根商工会議所、稲枝商工会、公益社団法人彦根観光協会、
公益社団法人彦根青年会議所、彦根ロータリークラブ、彦根南ロータリークラブ、
彦根ライオンズクラブ、彦根金亀ライオンズクラブ、公益財団法人平和堂財団、
NHK 大津放送局、 BBS びわ湖放送、KBS京都、朝日新聞大津総局、
毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局、中日新聞社、京都新聞、産経新聞社、
彦根文化新聞社、彦根タイムス社、滋賀彦根新聞社、
エフエムひこねコミュニティ放送株式会社



<順不同>

彦根市美術展覧会事務局(彦根市文化スポーツ部 文化振興課)
〒522-8501 彦根市元町4番2号 彦根市役所4階41番窓口
TEL. 0749-23-7810 FAX. 0749-21-3080



Hikone Castle Town
彦根城を世界遺産に